

県庁舎跡地整備基本構想における利活用イメージ

令和4年7月
県庁舎跡地活用室

「広場」「情報発信」「交流支援」などの機能を、県庁舎跡地と県警本部跡地に効果的に配置
広場等のオープンスペースを先行して整備し、利用状況を検証した上で、その後の整備を検討

機能

この地の歴史を感じつつ、憩いの場やイベント等で利用できる「広場」

- 石張りや芝生の空間などを整備し、様々な催しやイベントに対応

機能

歴史や世界遺産など本県の魅力を紹介する「情報発信機能」

- パネル等の展示や、先端技術等により歴史や世界遺産、伝統芸能などを体感
- 観光・物産・食等のインフォメーションにより、まちなかへの回遊や県内周遊を促す

機能

将来の発展につながる交流やイノベーションを促進する「交流支援機能」

- セミナーや交流会などを催し、若者や女性、NPOなど多様な人材をつなぎ活動を支援
- 県警本部跡地では、産学官等の連携によるオープンイノベーションを推進

(多目的交流スペースや講義スペース、共同研究スペース、プレゼンスペース等を整備)

機能

観光客等が利用しやすい、バスベイや待合所等を設置

その他

- 出島との景観等に留意
- 石垣上と下をつなぐ階段等を整備
- 旧第三別館や出土した石垣等については、安全性の面等から慎重にあり方を検討

長崎駅方面

具体的な建物等の規模や配置、デザイン等は今後検討のうえ決定

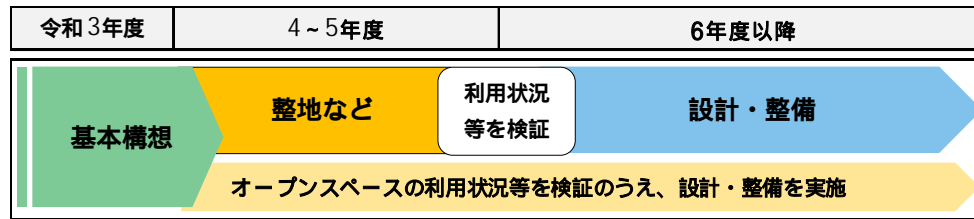


出島方面

販売い

今後の進め方

石垣上や第一別館跡地付近等のオープンスペースを暫定供用し、利用状況等を検証のうえ、その後の設計・整備を検討



広場イメージ



広場イメージ



情報発信イメージ



情報発信イメージ



交流支援イメージ



交流支援イメージ



出土した石垣

隣接地を含む一体活用を検討

階段等で接続

現存する石垣

石垣上

周辺部も含めた活用を検討

旧第三別館

現存する石垣

(江戸町公園)

県警本部跡地

交流

基本構想における利活用イメージ

基本構想（案）における機能や配置等の考え方をもとに現時点のイメージとして示したものの
広場等のオープンスペースを先行して整備し、利用状況を検証した上で、その後の整備を検討

市役所側からのイメージ

長崎駅方面



出島側からのイメージ

